

令和6年度 長崎小学校グランドデザイン



学校教育目標 「主体的に生きる子」

令和6年度具体目標 「自分でめあてを立て、計画的に取り組み、修正しながら根気強く取り組める子」

【めざす教職員像】
・子どもの良さを見つけ自信を育てる教職員

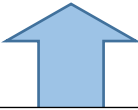


【めざす学校像】
・全ての児童の居場所となる学校

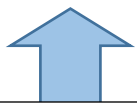


【めざす児童像】

自ら律することのできる子	判断力のある子	人との関わりから学ぶ子
<ul style="list-style-type: none"> ・きまりやルールの意味を考え、守れる子 ・自分がすべきことに気付く子 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え工夫する子 ・学習したことを活かせる子 ・身のまわりの出来事に関心を持ち、改善を図ろうとする子 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や受け答えができる子 ・失敗しても、工夫や修正をして根気強く取り組める子



学校経営の重点



児童自ら考えさせる教育
 ・生徒指導の4機能を活かした学年経営を行う。
 ・児童が中心となり取り組める場を意図的に持つ。
 ・発達段階に応じて、児童自らがより良い方法や解決策を発見できるよう努める。

協働・協力による教育
 ・学年担当制、教科担当制による学年運営を進め、複数教員の協働による学習指導、生徒指導、特別活動指導を行う。
 ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応を組織的に行う。

ユニバーサルデザインをベースに置く教育
 ・環境や指導に常にユニバーサルな視点を持つ。
 ・児童の多様性に対応できるよう適宜教育相談を実施し、適切な合理的配慮の提供に努める。

関わり合いから学ばせる教育
 ・学年や学級単位での活動、縦割り学級での活動を通し全ての児童に活躍の場を用意し所属感を高める。
 ・思いやりや規範意識を他者との関わりの中で育てる。

学ぶ意欲を引き出し育てる教育
 ・個別最適な学び、協働的な学びの実践化に取り組む。
 ・学習の個性化を図り児童一人ひとりの学びに向かう姿勢を高める。
 ・自分の考えを言葉に表す力・伝える力を育成する。



八木中学校区学校運営協議会を活かした学校運営



児童の安全な登下校
 ・登下校見守り隊やスクールガードとの連携
 ・PTA地区委員や保護者の見守り
 ・時季に応じた職員による登下校指導やパトロール

近隣校との連携
 ・八木中学校区学校運営協議会の協働運営
 ・幼保との情報共有
 ・メールの相互受信による対応の迅速化